

毎朝出勤時に車窓から見える山が、いつまでたっても青いままだなぁと思っていたら、先日の冷え込みで一気に白くなりました。冬らしい景色に見とれていたのもつかの間、3日で元に戻ってしまいました。やっぱり今年は暖冬なんですね。

■新型コロナウイルス肺炎が国内でも感染者が！注意すべきポイントはなんだろう？

中国の湖北省武漢市で、昨年12月以降に報告された新型コロナウイルスによる肺炎は、世界各地に広がっています。そして、ついに日本国内でも武漢に渡航していた人から同じウイルスが検出され、二次感染も発生しました。

世界的な広がり、そして我が国でも発生と不安が広がっていますが、できる限り感染を防ぐために、国が注意すべきポイントを以下のようにまとめています。

（引用）首相官邸ウェブサイト「新型コロナウイルス感染症に備えて ～一人ひとりができる対策を知っておこう」

1. 新型コロナウイルス感染症ってどんな病気？

●新型コロナウイルス感染症とは？

過去にヒトで感染が確認されていなかった新種のコロナウイルスが原因と考えられる感染症です。

●どうやって感染するの？

新型コロナウイルス感染症がどのように感染するのかについては、現時点では、飛沫感染（ひまつかんせん）と接触感染の2つが考えられます。

（1）飛沫感染

感染者のくしゃみや咳、つばなどの飛沫と一緒にウイルスが放出。別の人がそのウイルスを口や鼻から吸い込み感染。

※主な感染場所：学校や劇場、満員電車などの人が多く集まる場所

（2）接触感染

感染者がくしゃみや咳を手で押さえる。その手で周りの物に触れて、ウイルスが付く。別の人がその物に触ってウイルスが手に付着。その手で口や鼻を触って粘膜から感染

※主な感染場所：電車やバスのつり革、ドアノブ、スイッチなど

2. 一人ひとりができる新型コロナウイルス感染症対策は？

●新型コロナウイルスに感染しないようにするには過剰に心配することなく、「手洗い」や「マスクの着用」を含む「咳エチケット」などの通常の感染症対策が重要です。

（1）手洗い

ドアノブや電車のつり革など様々なものに触れることにより、自分の手にもウイルスが付着している可能性があります。外出先からの帰宅時や調理の前後、食事前などこまめに手を洗います。

（2）普段の健康管理

普段から、十分な睡眠とバランスのよい食事を心がけ、免疫力を高めておきます。

（3）適度な湿度を保つ

空気が乾燥すると、のどの粘膜の防御機能が低下します。乾燥しやすい室内では加湿器などを使って、適切な湿度（50～60%）を保ちます。

ほかの人にうつさないために 《咳エチケットを！》

3つの咳エチケット 電車や職場、学校など人が集まる場所でやる



■三重県：新型コロナウイルス感染症に関する「聴覚障がいのある方など電話による相談が困難な場合のみ」の問い合わせ先

《問い合わせ先》

三重県医療保健部薬務感染症対策課感染症対策班

FAX:059-224-2344

メールアドレス:yakumus@pref.mie.lg.jp

字幕映像ライブラリー NEWS

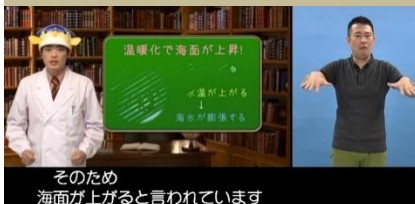
あちこちのスキー場では雪不足、さっぽろ雪まつりも雪像の制作が進まないという嘆きの声が報道されていました。今年は暖冬で終わるのかなと思いきや、2月に入りいきなり寒くなりましたね。なんだろう。グレタさんがいうように温暖化の危機なのでしょうか。今回は温暖化防止に関する作品を紹介します。

なお、「借りたいけど、なかなかセンターに行くヒマがない～」とお嘆きのアナタ、大丈夫です。郵送で貸出や返却ができるんです。詳しくは当センターホームページで！



■ 字幕映像ライブラリー 今回のイチオシ作品 はこれです！

『見直そう わたしたちの暮らし 地球温暖化防止に向けた取組、始まっています』



この環境番組は、地球温暖化防止の普及啓発を目的としています。温暖化進行による様々な影響や、ふだんの日常生活の中で快適かつ健康的な生活につながる身近な省エネ方法などを、わかりやすくクイズ形式やドラマ形式にまとめられています。

なお、大人も楽しめるだけではなく、小学校高学年～中学生の環境授業の教材としてもつかわれているそう。

また地域で実際に活動している地球温暖化防止の取組事例も紹介していますので、おおいに参考になりますよ。



<コンテンツ>

※「手話」「字幕」「手話と字幕」のいずれも選べます

- 第一部地球温暖化が進むと日本にどんな影響が？
- 第二部エネルギーを上手に利用して、快適に地球温暖化防止
- 第三部事例紹介



■ 令和元年度災害支援サポーター研修講座を開催します！

日時：2020年3月20日(金/祝) 13:30～15:30

場所：みえ県民交流センター イベント情報コーナー

内容：講演：『令和元年10月25日の大雨における千葉県聴覚障害者協会の支援活動(仮題)』

講師：増田 信也氏 (千葉県聴覚障害者センター 相談員)

参加費：無料

情報保障：手話通訳、要約筆記、ヒアリンググループあり

お申込み・問合せ先：三重県聴覚障害者支援センター

FAX：059-223-3301

TEL：059-223-3302

Email：deaf.mie-center@vivid.ocn.ne.jp

後日、当センター
ホームページにて
案内いたします！

